

地域医療支援病院の業務報告

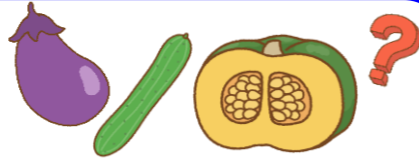
	令和4年度	令和5年度
紹介率	89.6%	92.8%
逆紹介率	89.3%	80.4%
平均在院日数	18.3日	20.5日
病床利用率	61.5%	68.2%

地域連携室の活動状況(令和5年度)

かかわった入院	全入院患者の69.6%
かかわった退院	全入院患者の52.8%
相談件数	院内 9,687件
	院外 2,063件



栄養関連ニュース



夏が旬のズッキーニ

果肉はなすに似た肉質ですが、なすがナス科ナス属なのに対し、ズッキーニはウリ科カボチャ属であり、ペポかぼちゃの仲間です。かぼちゃは完熟した果実ですが、ズッキーニは未熟な果実を若採りします。生で食べても問題はありませんが、苦味成分である「ククルビタシン」が含まれており、これを大量に摂取すると、腹痛・下痢・嘔吐などを引き起こす可能性があります。ククルビタシンの含有量は個体差があるため、普段とは違った強い苦味を感じた場合は食べないようにしましょう。基本的には加熱して摂取することをおすすめします。

栄養価

かぼちゃ属であり、なすのような肉質、またきゅうりのような見た目をしていますが、栄養価はきゅうりに近いものと考えてよいでしょう。

選び方

長さ20cmくらいのが食べ頃。切り口が新鮮で緑(または黄色)の色がはっきりしていて、大きすぎず皮に弾力があるものを選びましょう。

引用:野菜の本 農林水産省HP

《基本理念》

地域医療支援病院 オープンシステム 徳山医師会病院は医道の昂揚、医学・医療の発達普及及び公衆衛生の向上、社会福祉の増進につとめます。

1. 人間としての尊厳を守り、良質で適切な医療・看護を目指します。
2. 全人的医療を目指し、十分な情報を提供し、信頼関係に基づいた医療を行います。
3. 病診連携を図り、一致協力し、地域社会の要請に応える医療を提供します。

《基本方針》

1. 安心安全の医療を推進します。
2. 患者さん本位の医療を推進します。
3. 地域に開かれた医療を展開します。



編集後記

2024年7月から新札が発行されます。キャッシュレス決済が盛んになっているのに今更新札発行?という意見もありますが、その理由は紙幣の偽造の予防との事です。偽札が出回ると信用度が落ちるため、定期的に発行するそうです。尚、2,000円札については新札の発行はなく現状のままです。



徳山医師会病院だより

2024年 第64号
発行元 地域医療支援病院
オープンシステム
徳山医師会病院
〒745-8510
周南市東山町6番28号
TEL 0834-31-2350
FAX 0834-31-1623
<http://www.tokuyamaishikai.com/>



令和6年度 新入職員入社式

令和6年4月1日、職員入社式を開催しました。

今年度は新たに14名の看護部職員・2名の検査科職員・1名の放射線科職員が入社しました。

新人研修では外部の講師の方や各部署長などから、院内での様々な仕事のルールや、社会人としての心構えが伝えられました。現在は各部署にて患者さんのために日々奮闘しています。



式辞を述べる中村病院長



永年勤続者、病院表彰者への表彰状授与式も同時に行われました



式辞を述べる森松名誉院長



新入職員代表による宣誓



職員代表による歓迎の言葉



入社式後は、各病棟看護師長や各部署長の紹介がありました



17名の職員が入社しました

当院では受診の際「開業医」の紹介が必要です。
当院での診察や検査をご希望の方は「かかりつけ医」若しくは「開業医」へご相談ください。

新看護部長、新在宅支援部長就任のご挨拶



看護部長 岡崎 美紀

地域医療支援病院オープンシステム徳山医師会病院は、昭和41年4月に社団法人徳山医師会として設立された開放型病院です。全国で唯一の完全オープンシステム型の病院です。周南市の病院診療所の医師が登録医として、患者さんの入院から退院までの間、一貫して診療するシステムです。地域完結型医療を目指し、地域の病院・診療所を有機的に結合し、保健・福祉・施設と連携し地域住民の福祉向上を目指し活動していきます。

歴史ある徳山医師会病院の看護部長に令和6年4月より拝命いたしました。看護部は「地域住民の健康と幸福を願いあたたかな愛情あふれる質のよい看護を提供します」を理念に掲げ、地域医療支援病院として親しみやすい病院、患者さんが安心できる病院を目指し、信頼される医療を提供するために、看護実践力の高い看護師の育成と、患者さんに寄り添い優しい看護が提供できる倫理観のある看護師の育成を目指していきます。さらに患者さんのみならず、職員が安心して働ける環境作りに努めていきたいと思っております。



在宅支援部長 宮崎 千佐都

4月に在宅支援部部長に就任いたしました宮崎千佐都です。在宅支援部は4事業所で運営しており、訪問看護ステーション・地域包括支援センター・訪問介護事業所・居宅介護支援事業所で構成されています。経験豊富な看護師、社会福祉士、保健師、介護福祉士、ケアマネジャーなどが専門性を活かして協働し、相談・連携・支援をモットーに在宅での生活を維持できるよう介護の提供を行っています。

在宅支援部長として在宅支援部の統括が主ではありませんが、周南市医療介護連携支援センターの窓口としての機能も兼ねており、医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談へも対応しています。相談の中にはレスパイト入院の希望などもあり徳山医師会病院地域連携室とも連携しながら、さらなる医療・介護・福祉のネットワークづくりを強化していきたいと考えています。

私の基礎資格は看護師で3月までは居宅の管理者でしたが、ケアマネ不足もあり現在はケアマネジャーとして約20名の利用者を担当しています。利用者・ご家族の思いを傾聴し寄り添い望む生活を支えていけるようお手伝いをさせていただいています。

日々、ジェットコースターのようにキャパオーバーなど力不足を感じていますが、スタッフの明るい笑顔や挨拶などに元気をもらい、一丸となって多岐にわたる課題に取り組んでいます。今後も徳山医師会在宅支援部として、地域包括ケアの役割を担い地域に貢献していけるよう精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



5月12日「看護の日」をご存じですか？



5月12日は、近代看護教育の母フローレンス・ナイチンゲールの誕生日です。この日に因んで「国際看護師の日」「看護の日」が制定されました。「国際看護師の日」は、1965年に国際看護師協会によって制定され、看護師の社会貢献をたたえる日となっています。日本では1990年、厚生省（現 厚労省）により、看護の心、ケアの心、助け合いの心を育むきっかけになるように「看護の日」が制定されました。「看護週間」は、看護の日を含む週の日曜日～土曜日までとなります。この週間には全国の医療機関で様々なイベントが開催されます。当院でも能登半島地震の災害ナース支援報告や、院内でのTQM活動の取り組みなどを紹介するパネルを掲示し、また面会に来られたご家族の方にハンドタオルやウェットティッシュなどのセットをお配り致しました。



特定技能外国人職員の受け入れを開始しました



当院では令和6年3月から、ミャンマーから2名の特定技能外国人職員を迎え入れました。指導員の指示のもと、看護補助業務を担当させていただきます。当院では初の試みとなり、職場や環境に慣れるまでご不便をおかけすることがあると思いますが、指導員をはじめ病院全体でサポートしながら指導してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

